指導医大会 家庭医療分野概要

演題名	医療専門職のプロフェッショナリズムと、その教え方を考える。
------------	-------------------------------

概要

<本講演の目的>

本講演終了後、参加者の皆さんが以下の状況になっていることを期待します。

- ・ 専門職と社会との関係について説明することができる。
- ・ 医療サービス従事者に特に求められる態度規範について説明することができる。
- ・ 自身が医療専門職のプロフェッショナリズムを若い医師や医学生に教育することを想定した上で、その教育方法を立案することができる。

<講演の内容>

前半では、医師が持つべき態度規範の内容について、歴史的な経緯やその基盤となる倫理原則も含め紹介したいと思います。その上で、昨今の患者-医療者関係の変化も踏まえた上で、尾藤が考える現代の医師が持つべきプロフェッショナリズムについてお話しし、意見交換を行いたいと思います。

後半では、プロフェッショナリズムを医学生や若い医師に対して教育する方法について、皆さんと議論したいと思います。態度教育については、座学で身につくことは少なく、実践の場でこそ教育効果があります。今回は、特に在宅医療の現場で、若い医師たちに何を、どのように教えるべきかについての議論ができればよいかと考えております。